

## 熊野町地域公共交通活性化協議会（令和4年度第2回会議）

日時：令和4年8月19日（金） 10:00～11:40

会場：熊野町役場3階会議室



### 1. 開会

熊野町長 三村裕史

- ・新たな人の流れを生み、地域を活性化させることを目的に、地域公共交通計画の策定を進めている。事業推進のためには、交通の観点だけではなく、様々な分野の連携が必要である。
- ・本協議会での議論を通じて、持続可能な公共交通の活性化に取り組んでいきたい。

### 2. 会長あいさつ

高井会長

- ・全国には公共交通が脆弱な地域がたくさんあり、その中の一つが熊野町である。共創による地域交通形成支援事業に採択されたことをきっかけに、しっかりした交通体系をつくれればと思っているため、奇譚のない意見をお願いしたい。

### 3. 議事

#### （1）熊野町地域公共交通活性化協議会要綱の一部改正について

事務局

《熊野町地域公共交通活性化協議会要綱について資料に基づき説明。》

栗原委員

- ・要綱第9条の守秘義務には、罰則規定はあるのか。

事務局

- ・罰則の定めはないが、本協議会で知り得た情報は他に漏らさないようにしていただきたい。

高井会長

- ・要綱の一部改正について異議はあるか。

全委員

- ・異議なし。

## (2) 共創による地域公共交通支援事業について

### 事務局

- ・国土交通省の共創による地域交通形成支援事業に本協議会が申請主体となり応募し、採択された。本来であれば本協議会で決議すべきであったが、公募期間が短かったため、会長、副会長の同意のもとで応募を行ったことを報告。

### 全委員

- ・質問や異議なし。

## (3) 熊野町地域公共交通計画アンケート調査結果について

### 事務局 (福山コンサルタント)

《熊野町地域公共交通計画アンケート調査結果について資料に基づき説明。》

### 栗原委員

- ・住民参加型の公共交通の取り組みについて、自治会がやっているものを報道でみた。熊野町はそういうところではないかと思っていたが、何かコメントを加えていただけるとか。

### 事務局

- ・住民が主体となって公共交通を運行する事例は全国的に多く見られる。このほか、こういう時間に運行してほしい等の住民の意見を公共交通に柔軟に反映する仕組みを望んでいるとも考えている。

### 栗原委員

- ・高齢だが免許を持っている方が2日に1回でも、移動に困っている人をスーパーに連れていくなどをイメージしていた。そのような移動支援を行うイメージでよろしいか。

### 事務局

- ・そのような移動支援も含むということでイメージしていただいて問題ない。

### 高井会長

- ・郷原では通学の子供たちの送迎を有志の保護者がやっているが、事故などの問題がある。その点への対応などに課題がある。

### 栗原委員

- ・熊野団地に住んでおり、ハローズやA コープが近くにあるが、お醤油等を持って帰るのがつらい。運転できる人が運転できない人を連れ合って2～3人で買い物に行く方法はどうかという意見が寄せられている。

### 事務局

- ・徒歩で買物に行かれる方は、重たい荷物を運ぶのは大変である。家からスーパーまで、タクシーの

ように移動できる交通手段により支援を行う方法もある一方で、今あるバスやおでかけ号を生かしつつ、その際に障壁となっているバス停から自宅まで荷物を持って移動する場面を支援する方法もある。

#### 友田委員

- ・この場で出た意見をもって今後の方向性を整理していくのか。

#### 事務局

- ・この場で頂いた意見を踏まえて事務局で検討しとりまとめた後に、それを踏まえて協議会の場で改めて議論を行いたい。

#### 友田委員

- ・おでかけ号は無料で運行するスキームであるが、有料化はするのか。

#### 事務局

- ・現在運行している法制度に則れば無料で運行することになるが、有料化にする場合は、他のスキームを適用することになる。有料化するかは今後の検討課題である。

#### 地主委員

- ・買物に行く時は歩いていくが、帰りは荷物があるから帰れないという意見を聞いている。また、スーパーや病院に、行きはおでかけ号で行くが帰りの時間に合う運行がないため、タクシーを利用する人もいる。タクシーを使う人は大体高齢者だが、タクシー代は大きな負担であるため、高齢者を支援することはできないのか。

#### 事務局

- ・ご高齢の方には、元気な方や少し歩行が不便な方、介助が必要な方など様々な移動環境の方がおり、それぞれに合った交通手段を全体で考えていく必要があると考えている。
- ・買物や通院の帰りにおいて、タクシー代は高額となるため、時間が合わなくてもバスを待つ方もいると思う。その際の時間の使い方が分かればお伺いしたい。

#### 地主委員

- ・病院で待つ人もいれば、病院の近くにあるスーパーに歩いて行って買い物などで時間をつぶす人もいる。

#### 事務局

- ・外出機会を創出するためには、買物だけや通院だけではなく、病院に行った後に買い物に行くといった外出目的を繋ぐ移動手段も重要と考えている。

#### 神田副会長

- ・町外に通勤・通学する人が多いという特徴を捉えて、交通を便利にすることで如何に熊野を良い町

にしていくかということが重要である。

- ・お酒を飲むときにバスを利用したいという意見が多く見られている。公共交通計画を立てる際に、高齢者のみならず、家族でご飯を食べに行く際にバスを利用できるようにするなど、町民の方々全体を捉えて交通を便利にしていくことが必要ではないか。また、バスに乗らない方が、バスは時間がかかるというイメージがあるのではないかと思う。現在バスに乗っている人は時間を気にしていない傾向があるため、まずは乗ってもらうきっかけを作ることも必要である。町民の方に乗ってもらうマーケティングに近いコミュニケーションが必要ではないか。
- ・バスの待ち時間に利用できる交通結節点のような場所があると良い。町内の目的地となっている場所の近くに、時間を潰す場所がないのではないか。移動に加えて待つことができる場所、繋ぐ場となるような交通結節点があると良い。
- ・熊野の中の移動では渋滞が懸念されているが、萩原の手前にパーク&ライドの駐車場があれば渋滞を減らせるのではないか。20年ほど前にスーパーの駐車場を使ったパーク&ライドが全国的に見られたが、軌道に乗らなかったのは予約や支払いの手続きの煩雑さが要因の一つであった。今はデジタルが普及し、広電のモビリーの活用も考えられる。
- ・これらのことは人口を増やすまちづくりに直結する施策になると考えるため、そのような議論をしていきたい。

#### 事務局

- ・本議題を踏まえたご意見等があれば事務局に連絡いただきたい。

### **(4) 阿戸線運行に関する道路運送法の特例措置について**

#### 事務局

《阿戸線の事業計画案及び道路運送法の特例措置について資料に基づき説明。》

#### 友田委員

- ・朝日交通が運行主体となるに至った経緯についてどのような審査があったのか。
- ・広電バスと朝日交通で収支の差額があるのか。

#### 事務局

- ・町内で唯一、一般乗合旅客自動車運送の事業認可を受けていることや呉市において PASPY を導入した事業の実績を有していることを踏まえて、朝日交通に運行委託することになった。
- ・収支の差額については現時点では試算できていない。

#### 高井会長

- ・移動円滑化基準に適合しない車両を使うこと及び、行政区域外に設置する車庫について、本会議で承認が必要となるが異議はあるか。

#### 全委員

- ・異議なし。

#### **4. その他**

##### **事務局**

- ・次回会議は11月頃を予定する.

#### **5. 閉会**

##### **高井会長**

- ・以上で議事は終了する.